

著者名	題名
赤神 良讓	社会問題と思想問題
井口 乘海	課外講義 虎列刺病の話
今井 兼寛	課外講義 我国青年団体の概要
大内 青巒	仏教各宗の安心
加藤 咄堂	自治民政と仏教 聴衆の心理
金子 馬治	欧洲近代文芸思潮
斎藤 樹	社会事業概説
境野 黄洋	实用論理
島地 大等	真宗の安心——真宗教義の特徴
清水 静文	経済学説と実際問題
末広 照啓	天台宗の安心——法華経と念仏
高島平三郎	児童心理の応用
津田 敬武	日本の文化と神道
富田 敦純	真言宗の安心
長瀬 鳳輔	大戦後の世界現勢
乗杉 嘉寿	社会教育
畑 英太郎	課外講義 航空機の平和的価値
藤岡 勝二	思想の変遷と流行語の研究
三浦 貫道	浄土宗西山派の安心
村上 專精	我国の政治と仏教
望月 信亨	大日本最初の転法輪——大乘仏教の道徳的精神
山田 孝道	浄土宗の安心——法然上人の教義
横山 健堂	曹洞宗の安心 課外講義 日本教育史上に及ぼせる仏教の勢力

# 現代知識 教化講習録

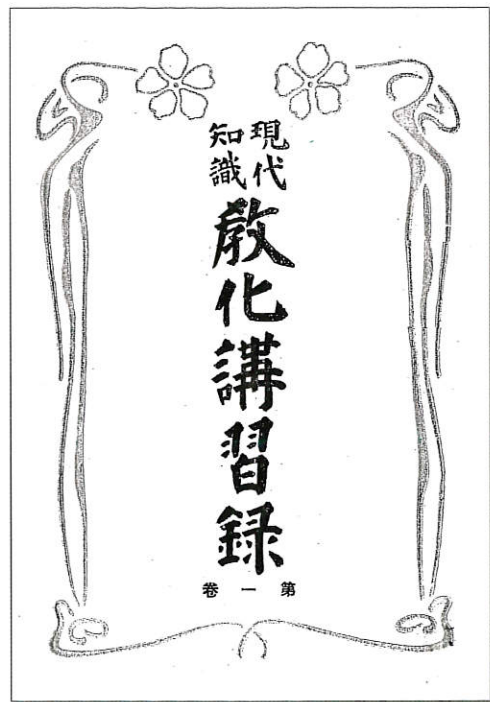
〔復刻版〕 全5巻

大正10年~大正12年

加藤咄堂(熊一郎)編

- 体裁 A5判・上製・総約1,900頁
- 序文・推薦 長谷川匡俊
- 解説 山口幸照・宮城洋一郎
- 推薦 藤田光寛
- 原本提供 高野山大学図書館
- 揃定価 本体85,000円+税 ISBN978-4-8350-7917-2
- 刊行 2016年8月

序文・解説は  
第1巻巻頭に収録



不二出版

「本講習録の五大特色」(原本奥付頁より)

- 一、専門知識を通俗化し平易なる説述を以て民衆教化に好資料を提供するは本講習録の特色なり。
- 一、布教伝道に従事する宗教家諸君に断えず新なる教材話材を供給するは本講習録の特色なり。
- 一、社会を教化し民衆を指導する人々に常に思潮の推移を知らしむるは本講習録の特色なり。
- 一、各方面に於ける現代大家の執筆を請い読者をして親しく其教を受くるの感あらしむるは本講習録の特色なり。
- 一、質疑応答の欄を置き、読者をして其難解の個所に対して随意に質問せしむるも亦本講習録の特色なり。

関連図書

遍路 全3巻・別冊1  
遍路同行会 発行  
昭和6年~17年刊

体裁 A5判/上製/総1,238頁  
別冊 解説(下西 忠)・総目次・索引  
推薦 真鍋俊照・森 正人  
価格 本体54,000円+税

『遍路』は東京中野・宝仙寺内の遍路同行会機関誌である。そして、「遍路愛」を鼓吹するために設立された遍路同行会の目的を達成するための「文書宣伝」を具体化した雑誌である。誌面では会長の富田敦純の文章をはじめ、高群逸枝や荻原井泉水等の著名文化人や会員の四国遍路の便りも載っている。また遍路同行会は「大東京遍路修業会」「多磨遍路」等、関東圏での遍路行事も行った。近代の遍路を知るために不可欠な貴重資料である。

労働共済 全6巻・別冊1  
浄土宗労働共済会 発行  
大正4年~10年刊

体裁 A5判/上製/総2,480頁  
別冊 解説(長谷川匡俊・土井直子)・総目次・索引  
推薦 池田敬正・吉田久一  
価格 本体90,000円+税

『労働共済』は渡辺海旭を主筆とし、全6冊が刊行された。高島米峰、矢吹慶輝、長谷川良信などの仏教者、安達憲忠、田中太郎などの東京関係者、小河滋次郎、田子一民などの社会事業家が寄稿し、労働問題に関わる情報を提供している。「協調の精神」を重視する仏教者らの社会事業活動の歴史的意義を検証し、現在の社会福祉、労働関係を考える上で研究者にとって重要な資料である。

\*表示価格はすべて税別

不二出版

T113-0023  
東京都文京区向丘1-2-12  
電話03-3812-4433  
FAX03-3812-4464  
振替001600294084

「社会教化」を知る貴重な書

長谷川 匡俊

『現代知識 教化講習録』（原本全一〇巻）が、復刻されることになった。本書が刊行された大正期は、社会事業と社会教化が密接に関係した時期であった。資本主義の進展にともなう社会問題への対応が迫られる中、教化と慈善（社会事業）が分化する傾向を示してきたが、本書が出版された一九二〇年代は社会事業の勃興期であり、社会教化の成立期でもあった。

社会教化には、国家による国民統合の役割を期待する面もあるが、社会教化団体の設立を通じて通俗図書館の開設や矯風事業など地域改良の活動を進展させてきた。社会事業もその一翼を担っており、この時期のセツルメントには当該事業の啓発・教育のための社会教化の役割があった。

こうした時代に、本書刊行にあたった加藤咄堂は「宗教運動は常に社会教化と関連し、社会教化は宗教を中心とする」と述べ、社会教化の核に宗教を置いていた。当時の宗教者（仏教者）に求められる社会的役割が大いに期待されていた。本書はその期待を込めて当代一流の執筆陣による社会教化の体系化をはかったものであった。ここに本書の歴史的意義に鑑み、広く推薦する次第である。

（大乗淑徳学園理事長 博士（文学））

『現代知識教化講習録』復刻に際して

藤田 光寛

この度、新しく発見され高野山大学図書館が購入した『現代知識 教化講習録』（原本全一〇冊）が二二出版から復刻されることになりました。

これは大正一〇（一九二一）年から大正二二（一九三三）年にかけて出版されたテキストです。長い間その存在が分からず閲読できませんでした。縁あって本学図書館に収蔵できました。

本書は、日本の近代仏教の研究のために、特に大正時代の仏教者による社会事業をはじめとする社会問題への取り組みについて知ることが出来る貴重な資料であります。

大正時代は大正デモクラシー、つまり政治や社会、文化などの分野において自由主義的な運動が起こる一方、第一次世界大戦（大正三年～大正七年）、米騒動（大正七年）、経済大恐慌（大正九年）、関東大震災（大正一二年）など重大な社会問題が発生し、各仏教団体が社会事業を活発に組織した時代であります。

この時代の多くの社会問題の解決のために、教化に当たる仏教者を対象に当代一流の専門家が分かりやすく述べたのがこの『現代知識 教化講習録』です。

過去を学び知って、現在と未来のあるべき方向性を考えることができます。仏教が二二世紀における社会問題を考えるヒントを提供し、人々の幸せのために貢献することが期待されている今、このテキストの復刻は誠に時宜を得た企画と言えるでしょう。

この復刻により日本の近代仏教研究が益々盛んになることを期待するものです。

（高野山大学学長 博士（文学））

内容見本

社会教育

文部省監修教育委員 乗杉 嘉壽

第一回 社会教育の意義

一 社会教育と學校教育との關係  
 社会教育とは如何なる教育であるかといふ教育との關係を見る必要があるといふことは、教育の場所乃至一定年限の間に一定の生徒を同時に一定方針の下に訓育を施すこととは、骨になつては學校そのものが一定の場所以外にないふ様なものや、或はその内容から見てもなく、否生徒も學科もあるけれど、其の内容が

我國の政治と佛教

文學博士 村上 專精

緒言

我々政治と佛教といふ事に就て一言申し上げたいのは政治と佛教は即ち政治と宗教の關係も太古は最も密着な關係を以つた國でもさういふ密着な關係を有つて居るが、今ではいふ状況になつて居る。日本でもそのふもとの關係に關係して宜いものかどうかと云ふことも國家に行はれる間は政治と宗教とを分ける事であるとの關係の仕方はいろいろあるものであつて政治といふものは國家全體の

發刊の辭

『古代の文化は進むが如く近代の文化は走るが如く現代の文化は飛ぶが如しと申して時々刻々に變化して行くのが時代の趨勢であります。此の時代に處して行くには何人も日進月歩の新智識の修養を怠つてはならぬのであります。が特に社會教化の任に當る人々にとりましてはこれほど必要なことはありませぬ。』  
 時代を解せずして時代を教化して行くといふことは出來ないのであります。が教化に從事する人々は皆各専門がありまして其の専門の方面には、それなりに修養を積んで居るべきものでありませぬ。我々の任務は、これを通過し民衆化して行かねばなりません。之れを現代知識に適用して行くといふことが必要にして、此の教化講習録であります。  
 本講習録は現代知識の各方面に關する大家

現代知識 教化講習録 (第一巻目次)

發刊の辭 (1) 文部博士 村上 專精

歐洲近代文藝思潮	金子馬治先生
大戰後の世界現勢	長瀬鳳輔先生
社會問題と思想問題	赤神良讓先生
社會事業概説	齋藤 樹先生
社會教育概説	乘杉嘉壽先生
我國の政治と佛教	村上專精先生
自治民政と佛教	加藤咄堂先生
日本の文化と神道	津田敬武先生
思想の表現と聽衆の心理	加藤咄堂先生
佛教各宗の安心	故大内青巒居士
佛敎航空機の平和的價値	煙英太郎閣下
教化資料	...
地方資料	...
雜錄	...